



世田谷文学館友の会

お知らせ 第140号

平成30年10月12日
世田谷文学館友の会
〒157-0062
世田谷区南烏山1-10-10
TEL 03-5374-9111
FAX 03-5374-9120
ホームページ
<http://setabuntomo.net/>

～～三館友の会交流会へのお誘い～～

本年度の三館（世田谷美術館・世田谷パブリックシアター・世田谷文学館）友の会交流会は、**設立20周年**を迎える**世田谷文学館友の会**が幹事当番を務め、世田谷文学館において開催されます。友の会会員の皆様には、各館友の会会員のかたがたとも交流を深める良い機会と存じます。是非とも交流会にご参加いただけますようご案内申し上げます。

交流会は第一部から第四部（午後2時半～6時半）にわたりますが、下記の内容をご確認いただき、ご希望の時間帯にご来場いただくことが可能です。

受付時間帯及び第二部では、文学館企画展「筒井康隆展」をご観覧いただけます。第三部のアトラクションは、大正期に作られた白秋・耕筰ペアによるインド民話を題材にした「ポストマニ」（芥子粒夫人）という長い物語詩をソプラノ歌手の和泉純子氏にご披露いただきます。ポストマニ姫の不思議な物語を歌いあげる壮大なバラードです。どうぞご期待ください！！

皆様にとりまして有意義な一日となりましたら幸いです。

- 日 時 : 11月13日（火） 午後2時半～6時半（受付開始1時半）
会 場 : 世田谷文学館 1階 文学サロン
内 容 : 受 付 午後1時半より
文学館企画展「筒井康隆展」（2階）観覧可能（午後1時半～2時半）
- 第一部 三館友の会協議会（午後2時半～3時半）
各友の会の前年度、本年度の事業報告など
- 第二部 文学館企画展「筒井康隆展」（2階）観覧（午後3時半～4時）
学芸員による解説あり（15分程度）
- 第三部 アトラクション（午後4時～5時）
北原白秋作詞、山田耕筰作曲のインド民話の歌「ポストマニ」（芥子粒夫人）
出演：ソプラノ歌手・和泉純子氏、ピアノ伴奏・高瀬奈美氏
- 第四部 ティーパーティ（午後6時半終了予定）
世田谷文学館友の会設立20周年のご挨拶を兼ねます。
- 参加費 : 2,000円（いずれの時間帯からのご参加でも一律）
定 員 : 50名（応募多数の場合は抽選）
申込方法 : 裏面の＜講座・散歩の参加申込み方法＞に準じます。
申込締切日 : 10月31日（水）必着

※アトラクション出演者プロフィール：

和泉 純子（いずみ じゅんこ）氏、ソプラノ歌手。茨城大学卒業。東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。「茨城の名手・名歌手たち 第14回」に出演。第6回藤沢オペラコンクール奨励賞。新国立劇場＜高校生のための観賞教室＞「蝶々夫人」、日生劇場「魔笛」に出演。

高瀬 奈美（たかせ なみ）氏、ピアニスト。武蔵野音楽大学卒業。現在、ソロ及びアンサンブルで多彩な活動を展開。コンサート企画も行い、「夜想曲シリーズ」、「MIXMAGIC」は10回を数える。CDに「マリンバの贈り物」J.ケージ「ソナタとインターリュード」など。つくばサロンコンサートメンバー。

（裏面に続く）

講座 大伴家持（生誕1300年）— 没落する名家を 支えながら、歌に生きようとした悲運の万葉歌人—

（講師 糸井 久氏）

「咲く花のにはほふがごとく」と讃えられた八世紀の奈良の都。しかし宮廷社会の現実には貴族達の権謀渦巻く舞台となり、長屋王の変以後、新興勢力の藤原氏が、皇族政治家を抑えて着々と政治権力を獲得していった。大伴氏一門は、永代天皇家の守護や軍事を担った名家であったが、劣勢を強いられていた。氏の嫡流を継いだ大伴家持は、家運の挽回とともに歌作を志した。武門の名家の誇りを背負いつつ歌作に励んだ相反する内面と人生を理解したい。

（講師メッセージ）

講 師 : 糸井 久氏 （世田谷文学館友の会企画委員）

開 催 日 : 11月27日（火） 午後2時～4時

会 場 : 世田谷文学館 2階 講義室

参 加 費 : 会員800円 会員以外1000円

申込締切日 : 11月15日（木）必着（応募者多数の場合は抽選）

俳句鑑賞会

10月23日（火） 11月27日（火） 12月18日（火） 午前10時半～正午

文学館2階講義室 参加費 200円 秀句一句とご自作があれば一句お持ちください。

* 次のおしらせ141号は、12月下旬発行の予定です。

【世田谷文学館からのお知らせ】

「筒井康隆 展」（チラシ同封あり）

10月6日（土）～12月9日（日）

『時をかける少女』『七瀬ふたたび』『虚人たち』『虚航船団』『旅のラゴス』『残像に口紅を』『文学部唯野教授』『モノダの領域』…、エンターテインメントと純文学の垣根を自由に越境、常に読者を驚かせ、魅了し続ける作家・筒井康隆。既存の文学・概念をぶち壊し、その文学を形容することばを探しても、並べたその先から陳腐化してしまう、完全降伏せざるを得ない唯一無二の存在です。2018年、世田谷文学館は現代文学最高峰「筒井康隆」に挑みます。すべてにおいて規格外のこの作家の魅力を、初公開の原稿ほか多彩な資料と、独創的な展示空間でお伝えします。

詳細・関連イベントは「世田谷文学館>展覧会」Webをご参照ください。

<https://www.setabun.or.jp/exhibition/index.html>

<講座・散歩の参加申込み方法>

「往復はがき」に下記の事項を記入してお申し込みください。

①講座・散歩名 ②参加希望日 ③会員番号（会員以外の方は「非会員」と明記）④住所・氏名・電話番号

⑤ご希望の講座・散歩など。**連名申込み可（③と④を必ずご記入）**。参加費は当日お支払いください。

お一人が複数の講座・散歩をお申し込みの場合は、それぞれ別の往復はがきにてお申し込みください。

※参加を取り消される際には必ずご連絡ください。

宛先 〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10 世田谷文学館友の会 TEL 03-5374-9111

FAX 03-5374-9120

ホームページ 「世田谷文学館友の会」<http://setabuntomo.net/>